

病害虫情報 No. 3

茨城県病害虫防除所

イネツトムシの発生に注意してください！

イネツトムシ第2世代幼虫の発生が多くなると予想されます。
7月下旬の防除適期を逃さないよう注意してください。

作物名：水稲（飼料イネを含む）

病害虫名：イネツトムシ（イチモンジセセリ幼虫）

[現在の状況]

- 7月上旬現在、鹿行、県南、県西地域でイネツトムシ第1世代幼虫の発生が平年より多く、発生地点率は平年より高い（表1）。
- 第1世代幼虫の発生量が多いことから、7月下旬頃から発生する第2世代幼虫の発生量は平年より多いと考えられる。

表1 イネツトムシ第1世代幼虫の発生状況（7月上旬調査）

調査地点数	ツトム数/25株			発生地点率（%）			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
県北	29	0.0	0.1	0.1	3	7	9
鹿行	6	0.2	0.0	0.1	17	0	7
県南	20	0.3	0.1	0.1	30	5	7
県西	11	0.4	0.1	0.1	36	9	8
全県	66	0.2	0.1	0.1	18	6	6

[防除対策]

- 第2世代幼虫の防除適期（若齢期、幼虫がイネの葉先を巻き始める時期）は7月25～31日頃と予想される。
- 7月下旬に水田をよく観察し、幼虫の発生が多い場合は表2を参考に薬剤防除を実施する。
- 周辺に比べて田植えが遅い水田、葉色が濃い水田、飼料イネでは、発生に特に注意する。

表2 水稲のイネツトムシの主な防除薬剤（平成17年7月13日現在）

薬剤名	施用量または 希釈倍数	収穫前日数- 剤の使用回数	有効成分名	有効成分の 総使用回数
ディプレックス乳剤	1,000倍	14-4	DEP	4
パダンSG水溶剤 ※	1,500倍	21-6	カルタップ ^o	6
ディプレックス粉剤DL	4kg/10a	14-4	DEP	4
MR.ジョーカー粉剤DL	4kg/10a	7-2	シラフルオフェン	2
パダン粒剤4 ※	3～4kg/10a	30-6	カルタップ ^o	6

農薬の使用にあたっては、農薬ラベル記載の使用方法、注意事項を確認のうえ使用する。

※ 飼料イネについては、これらの薬剤を使用する。稲発酵粗飼料栽培・給与マニュアル参照。

さらに詳しい発生状況、発生生態等については病害虫防除所ホームページをご覧ください。